

Information

World Health Summit Regional Meeting Asia, Kyoto 2015のお知らせ

基調テーマ●Resilience(折れない力)を医療に — 医学アカデミアの社会的責任

World Health Summit(WHS)は、医学の名門ドイツのシャリテ大学が、創立300周年を記念し、日本を含む主要先進国に呼びかけ、2009年に開始された国際会合で、以降、毎年10月にベルリンで開催されています。呼びかけに応じた世界の主要8医科大学がM8 Alliance(M8)を組織し、このM8が中心となってWHSを運営しています(現在17機関が加盟)。また、2013年から毎年4月に各国でRegional Meetingを開催し、2015年は京都大学が主幹校に選定されました。

2015年京都のRegional Meetingでは、超高齢社会や自然災害に折れない医療や社会システムへの転換、それを支える次世代リーダーの育成、そしてこれらの課題解決への医学アカデミアの社会的責任、を主要トピックとして掲げています。世界最速で迎えた超高齢社会、東日本大震災・原発事故、などの困難な状況のなかで、日本がどのような創意工夫や仕組みで、国民の健康と医療を支えようとしているか、に世界は注目しています。世界の学産官、NGOなどが一同に会し、これらを共通の課題として、議論を深めることをめざしております。

概要●

- 世界のトップリーダーによる基調講演: Ichiro Kawachi 教授 (Harvard 大学) 「Social Capital と Resilience」, 他
- 特別講演: 山海嘉之教授(筑波大学)「ロボットスーツ HAL の高齢社会における可能性(仮題)」
- 10以上のセッション: Big data と医療, プライマリ・ケア, 医療技術評価, 健康を地域で支えるまちづくり, 災害に折れない医療システムへの転換, 社会的繋がりと健康, 未来リーダー人材育成, Global Health R & D, 他

会期●2015年4月13日(月), 4月14日(火)

会場●国立京都国際会館

主催●京都大学

共催●福島県立医科大学

会頭●湊 長博(京都大学副学長), 福原俊一(京都大学医学研究科社会健康医学系専攻長)

後援●文部科学省, 復興庁, 外務省, 厚生労働省, 経済産業省, 国土交通省, 第29回日本医学学会総会2015関西, 日本プライマリ・ケア連合学会(順不同)

参加費●早期登録: 一般18,000円, 研究者11,000円, 学生1,000円(2014年12月31日まで)

事前登録: 一般20,000円, 研究者13,000円, 学生2,000円

Web 登録: <http://www.worldhealthsummit.org/regional-meeting>

お問い合わせ●主催事務局

E-mail: WHSRM2015@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp